

令和6年度 諫早市在宅医療・ 介護連携支援センター運営事業 活動報告書

一般社団法人 諫早医師会
諫早市在宅医療・介護連携支援センター
(かけはし いさはや)

事業の目的

要介護者等が、住み慣れた地域で在宅生活の継続に必要な医療と介護サービスを円滑に提供できる体制を構築するため、専門職から在宅医療に関する相談に対して支援を行います。

また必要な情報を発信するなど、医療と介護事業者の連携をサポートすることを目的としています。

諫早市在宅医療・介護連携支援センター

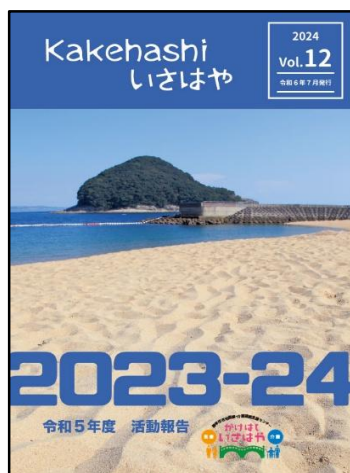
TEL : 46-3166 FAX : 46-3167



令和6年度 主な取り組み

「Kakehashi いさはや」情報誌の発行（継続）（資料1）

情報紙発行5年目となり、関係機関に対し「かけはしいさはや」の役割や活動内容、また専門職の皆さんの視点から、相互に理解し合い、医療と介護の連携の一助となるよう情報紙を発行しています。



VOL.12

- 令和5年度当センターの活動報告書の概要を掲載しました
- 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました
◎「在宅医療における眼疾患について」
やまもと眼科 山本広樹先生
- 令和6年度 研修会・講演会開催予定



VOL.13

【特集】住み慣れた地域でいつまでも自分らしく

～諫早市のACPの取組み～

諫早市が作成したACPの冊子について、作成までの経緯や冊子に込めた思いを、地域包括ケア推進課の方にお話しいただきました。

- 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました (P9参照)
令和6年7月13日(土) 於：高来ふれあい会館
- 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました (P7参照)
◎「血圧のはなし」
あいず訪問看護ステーション諫早 増丸 昌馬様



VOL.14

【特集】みんなで考えよう！本人の思いをつなぐ支援

第3回在宅医療・介護関係者研修会の内容を紹介しています。グループワークでは、活発な意見が交わされていました。

- 在宅医療・介護関係者研修会を開催しました (P7～8参照)
◎「健口図鑑」かわい歯科クリニック 河井洋祐先生
◎「在宅医療における整形外科疾患について」
たけさこ整形外科クリニック 竹迫久享先生
- 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました (P10参照)
令和7年2月15日(土) 於：小栗ふれあい会館

令和6年度 主な取り組み

在宅医療・介護関係者研修会

在宅医療・介護関係者研修会は、諫早医師会、諫早市歯科医師会、長崎県訪問看護ステーション連絡協議会諫早地区及び諫早市在宅ケアサークル様のご協力を頂き、4回開催しました。

また、主任介護支援専門員の方には、「長崎県主任介護支援専門員更新研修受講要件対象研修」として、修了証明書を7名に交付しています。

取り組み内容

第1回

令和6年度 第1回 在宅医療・介護関係者研修会

『血圧のはなし』

血圧の基礎知識・高血圧と生活習慣病

講師：増丸 昇馬 様
(あいず訪問看護ステーション 講師 所長)

9月12日(木)
14:00～15:00

諫早市健康福祉センター多目的ホール

【申込方法】
①会場・動画視聴のどちらかを選択
②氏名 ③所属 ④職種 ⑤質問を入力し、
kakehashiishaya555@gmail.comに
送信してください。

【申込締切】 9月10日(火)
質問のある方は11/29(金)までに返信してください。

① 本研修は、5日有効期間が過ぎる10月10日(日)YouTubedにて配信されます。
② 動画視聴も申し込みの必須です。参加申込の後に、動画視聴を強制し、送信してください。
③ 研修終了後は、参加者全員が参加者リストに入ります。
④ 本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
⑤ 参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
⑥ 参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
⑦ 参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
⑧ 参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
⑨ 参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
⑩ 参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。

一般社団法人 諫早市医師会
諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター

第2回

令和6年度 第2回 在宅医療・介護関係者研修会

健口図鑑

最近では口腔ケアだけでなく、オーラルフレイル予防、摂食嚥下リハビリテーションなど
多岐にわたります。また、口腔ケアの重要性が注目されています。
近年の口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。
口腔ケアの重要性が注目されています。口腔ケアの重要性が注目されています。

講師：河井 洋祐 先生
(かわい歯科クリニック 院長)

11月29日(金)
19:00～20:00

諫早市健康福祉センター多目的ホール

【形式】 集合研修

【参加申込締切】
11月27日(水)
質問のある方は11/29(金)までに
返信してください。

①氏名 ②所属 ③職種 ④質問を入力し、
kakehashiishaya555@gmail.comに
送信してください。

本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。

一般社団法人 諫早市医師会
諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター

第3回 (諫早市在宅ケアサークル共催)

令和6年度 第3回 在宅医療・介護関係者研修会
諫早市在宅ケアサークル共催

みんなで考えよう！ 本人の思いをつなぐ支援

医療や介護の現場にいます。いろいろな悩みを抱えています。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。
どのような状況でも、本人の思いをつなぐ支援が必要です。

多目的
2025年 2月22日 土
15:00～17:00

会場 諫早市健康福祉センター多目的ホール

【申込方法】
①氏名 ②所属 ③職種 ④質問を入力し、
kakehashiishaya555@gmail.comに
送信してください。

【申込締切】 2月14日(金)

本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。

一般社団法人 諫早市医師会
諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター

第4回

令和6年度 第4回 在宅医療・介護関係者研修会

在宅医療における 整形外科疾患について

講師：竹迫 久幸 先生
たけさこ整形外科 副院長

3/26 水 時間 19:00～20:00
会場 諫早市健康福祉センター
多目的ホール

【申込方法】
①氏名 ②所属 ③職種 ④質問を入力し、
kakehashiishaya555@gmail.comに
送信してください。

【形式】 集合形式

【申込締切】
3月25日(火)
質問のある方は3/25(火)までに
返信してください。

本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。
本研修は、(参加費はなし)の無料研修です。参加費は、(参加費はなし)の無料研修です。

一般社団法人 諫早市医師会
諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター
〒854-8501 諫早市健康福祉センター

成果と課題

今年度から集合研修とし、新たな取り組みとして、参加できない方でも後日自宅や業務の空き時間等に視聴できるように、YouTube配信を行った。視聴された方から「空いた時間に観れて良かった」など、好評であった。

第3回研修会は、ACPをテーマにしたグループワーク研修も取り入れ、医師の参加も多くあり、大変活発な意見が交わされていた。

今年度より、疾患を基礎から改めて学ぶことを目的として、また在宅での様子をイメージしやすいように、新たに訪問看護師を講師に迎えた研修会を開催した。新しい知識や気づきもあり、参加者からは好評であった。次年度以降も継続して、計画していく。

在宅医療に関する専門相談や退院時の相談支援に必要な情報収集のため、医療機関や介護事業所、高齢者施設にアンケート調査を実施し、ホームページに掲載している情報を更新しています。

ホームページ掲載

取り組み内容

(1) 情報の更新

- ① 医療機関の情報更新は、三師会の協力を得て年1回更新を行った。(資料2)
- ② 介護事業所情報は、長崎県長寿社会課のデータを基に半年に1回更新した。(資料3)
- ③ 高齢者施設情報は、長崎県長寿社会課のデータを基に半年に1回更新した。(資料4)

また、独自に年1回高齢者施設（軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護（GHI）の事業所に対し医療処置があっても入居可能なもの、看取り対応、費用、施設PRなどアンケート調査を実施して情報を更新した。(資料5)

【地域資源情報一覧掲載件数】			
在宅医療機関	59件	デイサービス事業所	43件
訪問歯科医院	42件	地域密着型デイサービス事業所	36件
訪問薬局	53件	認知症対応型デイサービス事業所	6件
訪問看護ステーション	21件	ショートステイ(短期生活)	17件
訪問介護事業所	35件	ショートステイ(短期療養)	13件
小規模多機能型居宅介護	7件	巡回訪問	2件
訪問リハビリテーション	8件	福祉用具販売	9件
通所リハビリテーション	20件	福祉用具レンタル	11件
居宅介護支援事業所	49件	訪問入浴	1件

【高齢者施設一覧掲載件数】			
介護老人保健施設	4件	○有料老人ホーム	18件
介護老人福祉施設	8件	○サービス付き高齢者向け住宅	14件
地域密着型介護老人福祉施設	8件	○軽費老人ホーム	4件
介護医療院	3件	○認知症対応型共同生活介護	26件
※○は費用や通院送迎など詳細を表示			

(2) その他サービス情報

- ①介護タクシー・福祉タクシー 10件 (資料6)

- ②グループホーム空床情報【新規】

諫早市グループホーム連絡協議会のご協力を得て、令和7年2月から毎月15日現在の空床情報の公開を始めた。

(資料7)

諫早市
グループホーム
空床情報

ホームページのトップページ
「お知らせ」に掲載

成果と課題

施設情報については、ケアマネジャーや医療連携室担当者より活用しているとの声が年々増えており、周知できている。一方で、訪問介護の詳細情報などまだ周知が不十分なものもあるため、活用していただけるよう研修会等の機会を利用し広報していく。

グループホーム空床情報については、専門職の活用状況をみながら、更新方法など評価をしていく。

今年度も各地域包括支援センター主催の研修等に参加し、地域包括支援センターの取り組みや各圏域ごとのケアマネジャーの困りごと等を共有することができました。

取り組み内容

①「CM語らん場」（南部地域包括支援センター主催）

日 時： 5月15日(水)、9月18日(水)、1月15日(水) 13:00～15:00

内 容： 「業務効率化について」「身寄りのない高齢者に関する困りごと疑問について相談会」「サービスに結びつかず家族が疲弊している事例への支援」と各回ごとにテーマを設定し、各グループで意見交換を行った。参加者のこれまでの経験から、たくさんの意見や情報が交わされ、圏域のケアマネジャーが気軽に話ができる場となっていた。

②地域ケア会議(北部地域包括支援センター)

日 時： 9月10日(火) 14:00～15:00

内 容： ある世帯の支援について、関係者間で現状と課題を共有し、ネットワークを構築する。また緊急時起こりうる状況について共有し、連絡体制を確認する。

③北部圏域居宅介護支援事業所研修会(北部地域包括支援センター主催)

テーマ： 「介護の現場での困りごと 何でも法律相談室」

日 時： 10月22日(火) 13:30～15:00

内 容： ・講話「介護業務とハラスメント」(法テラス弁護士事務所 弁護士)
・質疑応答(ハラスメントに関すること、身寄りのない方に関することなど)

④令和6年度西部包括活動報告会(西部地域包括支援センター主催)

日 時： 3月11日(火) 14:30～15:30

内 容： ①包括専門職より年度報告
②西部圏域内の地域問題について協議(グループワーク)

成果と課題

今年度は3つの地域包括支援センターが行っている研修会等に参加し、多くのケアマネジャーと交流でき、また地域包括支援センターの役割についてもより理解を深めることができた。

圏域で抱えている地域課題の違いを知るためにも、各包括の研修会、会議等に参加し、継続的に情報交換等を行っていきたい。また、専門職の相談対応にどのような情報等が必要なのか、意見を集め、業務に活かしていく。

令和3年12月に改訂した「諫早市入退院支援連携ガイドブック」について、運用方法、情報提供書等の見直しのため、諫早市地域包括ケア推進課と協力しアンケート調査を実施しました。

取り組み内容

「諫早市入退院支援連携ガイドブック」アンケート調査

目 的 平成30年4月から運用を開始している「諫早市入退院支援連携ガイドブック」(以下、ガイドブック)について、ガイドブック記載内容の改善点や入退院時の連携状況を把握する。

調査期間 令和6年12月

調査対象 (1)ガイドブック協力医療機関で入退院に携わっている部署または担当者
(2)市内居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、地域包括支援センターの介護支援専門員
(3)市内介護保険施設の相談員

調査方法 アンケート調査票を送付し、FAX、Googleフォームで回答

主な調査内容 (1)「入院時情報提供書」「退院時情報提供書」の活用状況について
(2)フロー・情報提供書の気づき、改善点等について
(3)ACPについて
(4)入退院時における医療機関とケアマネジャーの連携状況について

調査結果概要

■医療機関				■ケアマネジャー・相談員等				
	配布医療機関数	回答数	回収率		配布事業所数	回答数(事業所)	回収率	回答者数
全体	27	18	66.7%	全体	83	65	78.3%	116
病院	13	11	84.6%	居宅	48	42	87.5%	66
診療所	14	7	50.0%	包括	5	5	100%	30
				小規模	7	5	71.4%	5
				施設等	23	13	56.5%	15

・「入院時情報提供書」「退院時情報提供書」は60～70%の方が活用していると回答。

・入退院支援連携フローについては、令和6年度介護報酬改定に合わせ、「3日以内に連絡する」を「入院当日又は翌日」に変更した方が良い。また、転院先への情報提供については、医療機関側、ケアマネジャー側それぞれから意見が出ていた。

・情報提供書の項目については、「認知症・精神疾患についての記入欄を設ける」という意見が最も多く、一方で特記事項に詳細を記載するので問題ないとの意見もあった。

・ACPの取り組みについては、患者・利用者に行っているとの回答は50%を超えていた。情報提供書のACPに関する記入欄については、話すきっかけになるので必要という意見もある一方、変化していく内容なので、必要なことだけ特記事項に記入すればよいという意見もあった。

成果と課題

情報提供書の改善点については多くの意見があり、内容を十分精査し反映できるか検討が必要である。転院時の情報提供書に関することは、できるだけ早く現状を把握し、変更・修正する必要がある。市内では広く周知、活用されているが、より良いものとなるよう市と協力し、次年度改訂に向けて取り組む。

居宅介護支援事業所や医療連携室などの医療・介護関係者、関係機関から医療機関情報や在宅医療等に関する相談に対して、情報提供や助言に努めました。(参考1)

相 談 内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談区分	合 計	3	1	2	1	0	2	1	3	3	2	1	2	21
在宅療養支援	①医療等に関する相談	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	②介護等に関する相談	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
	③短期入院・入所に関する相談	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	④看取りに関する相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
転・退院支援	⑤医療情報に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥介護情報に関する相談	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	7
その他	⑦苦情・クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑧その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2

相 談 者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談者区分	合 計	3	1	2	1	0	2	1	3	3	2	1	2	21
ケアマネ	居宅介護支援事業所	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
医療関係者	病院、医院	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	6
	診療所（歯科含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問看護ステーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業所	在宅サービス事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設サービス事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関等	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市民	0	1	0	1	0	2	1	1	2	2	0	0	10
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

取り組み内容

地域の医療・介護関係者等から、透析治療を受けている方の入所に関することや、ショートステイに関する事など、医療や施設情報に関する相談を受けた。

市民からの相談は10件で、どのような施設があるのか事前に情報を集めておきたい、ケアマネジャーはどのように決めるのかなどの相談があり、必要な情報の提供や関係機関を紹介した。

成果と課題

相談件数は21件。

市外の医療機関連携室からの相談も多く、対象者は障害や生活保護、母子家庭などのケースもあった。高齢者だけではなく、様々な関係機関との連携の必要性を感じた。

市内のケアマネジャーからは医療に関する相談が複数あり、医療との連携に関しての困りごとなど、相談内容から整理する必要がある。

今後も相談内容・対応を整理し、問題点の抽出やその後の相談対応へ活かしていく。

第1回 テーマ 「血圧のはなし～血圧の基礎知識・高血圧と生活習慣病～」

開催日 令和6年9月12日（木）14:00～15:00
 講師 増丸昇馬様（あいず訪問看護ステーション諫早）
 会場 諫早市健康福祉センター多目的ホール
 参加者 41名（会場20名、動画視聴21名）

**【講演内容】**

高血圧の治療をしている利用者・患者が多い中、支援するにあたって、血圧とは何か、在宅でどのようなことに気をつければよいか、お話いただいた。

在宅だけではなく、施設やデイサービスでも活かせるポイントなどもあり、幅広い内容であった。

【参加者からのご意見】

- ・基本的なことでもありながら、在宅で必要な、大事な内容についてわかりやすくお話しただけでよかった。
- ・対応することの多い血圧についてですが、基本的なことはあまりわかっていないのではと不安になり、研修を受けました。講義はとてもわかりやすく、特に、「血圧計がなくても血圧がわかる!？」は参考にさせていただきます。

職種	人数
歯科医師	1
看護師	1
ケアマネジャー	13
介護職(介護福祉士)	2
生活相談員	1
ヘルパー	2
合計	20

(※会場参加のみ)

第2回 テーマ 「健口図鑑」

開催日 令和6年11月29日（金）19:00～20:00
 講師 河井洋祐先生（かわい歯科クリニック）
 会場 諫早市健康福祉センター多目的ホール
 参加者 44名（会場27名、動画視聴17名）

**【講演内容】**

歯科領域に関する様々なデータや、報酬改定に関すること、多職種連携など多岐にわたる内容だった。

多くの症例写真も提示していただき、これから利用者さんの口の中をみたときに、同じような状態があれば、すぐに歯科に繋げることもできるのではないだろうか。

諫早市歯科医師会の“悩メール”も活用し、歯科医との繋がりを拡げていきたい。

【参加者からのご意見】

- ・健康長寿のためにも口腔ケアや口腔管理の必要性を改めて実感し、日頃から利用者の口腔内も把握し、必要時はお口の悩メールで相談して、歯科医と連携をとりながら支援していきたい。
- ・高齢化社会になり、介護業務が増え続ける中、全身の健康に及ぼす口腔衛生を保つ事に、他職種の方々が意識を向けていかれる、素晴らしい研修と感じました。

職種	人数
歯科医師	4
看護師	2
ケアマネジャー	6
栄養士	1
言語聴覚士	1
作業療法士	2
歯科衛生士	5
介護職(介護福祉士)	4
生活相談員	1
ヘルパー	1
合計	27

(※会場参加のみ)

第3回 テーマ 「みんなで考えよう！本人の思いをつなぐ支援」

開催日 令和7年2月22日（土）15:00～17:00

会場 諫早市健康福祉センター多目的ホール

参加者 43名



【研修内容】

訪問診療をされている先生方にも参加していただき、脳梗塞発症事例をもとに、発症から現在に至るまでに設定した3つのポイントでどのような支援が考えられるか、グループワークを行いました。

医療・介護サービスだけでなく、意思決定支援も含めて、“本人の思いをつなぐ支援”として、これから取り組んでいきたいことなど、どのグループも活発な意見交換がおこなわれていました。

【参加者からのご意見】

- ・多職種連携は大切で、日頃あまり関わりがない職種の意見も聞けて良かった。本人の生き甲斐、思いをどうつなげられるか。ケアマネとして本人の思いをしっかりと聴取する必要があると思った。Dr.の意見を直接聞ける機会は貴重でした。
- ・多職種の方と多岐にわたる考え方に接することが出来て、垣根なく情報共有することを心がけていきたいと思います。

職種	人数
医師	7
歯科医師	2
薬剤師	3
看護師	7
ケアマネジャー	15
MSW	1
栄養士	1
理学療法士	3
介護職(介護福祉士)	1
ヘルパー	3
合計	43

第4回 テーマ 「在宅医療における整形外科疾患について」

開催日 令和7年3月26日（水）19:00～20:00

講師 竹迫久享先生（たけさこ整形外科クリニック）

会場 諫早市健康福祉センター多目的ホール

参加者 52名(会場38名、動画視聴14名)



【講演内容】

ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症、寝たきり骨折という3つのテーマでお話しいただき、骨粗鬆症については、薬物治療をされている利用者さんについての質問もあり、参加者の関心が高かったように感じた。

どのお話からも“予防”という観点が非常に大切であることを、改めて認識する研修会となった。

【参加者からのご意見】

- ・生活や予防に特にポイントをあてていただき、わかりやすかった。
 - ・知ってそうで知らないことがあり、大変勉強になりました。
- 食事、日光浴など、具体的な内容も教えていただき、今後利用者様に転倒予防、骨折予防となるよう支援を行っていききたいと思います。

職種	人数
医師	2
歯科医師	2
薬剤師	2
看護師	2
ケアマネジャー	12
社会福祉士	1
理学療法士	2
作業療法士	2
介護職(介護福祉士)	1
ヘルパー	9
事務職	1
その他	2
合計	38

(※会場参加のみ)

キ 地域住民への普及啓発

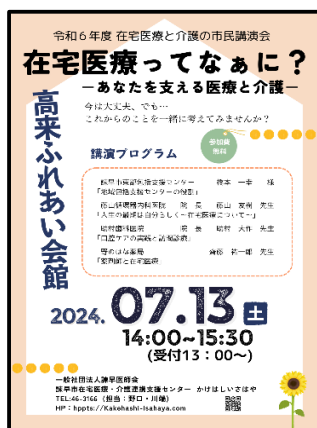
① 医療と介護に関する市民講演会の開催（資料9）

医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活ができる「在宅医療」について理解を深めてもらうことを目的に、三師会の先生方及び地域包括支援センターと連携し、市民講演会を開催しました。

ホームページ掲載

【テーマ】 在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～

第1回 市民講演会



【日 時】 令和6年7月13日(土) 午後2時から3時半まで

【会 場】 高来ふれあい会館

【参加者】 84名

【講 師】 東部地域包括支援センター 橋本一幸様

「地域包括支援センターの役割」

藤山循環器内科医院 藤山友樹先生

「人生の最期は自分らしく～在宅医療について～」

助村歯科医院 助村大作先生

「口腔ケアの実践と訪問診療」

野のはな薬局 齋藤祐一郎先生

「薬剤師と在宅医療」



講演内容

東部地域包括支援センターから、地域包括支援センターが高齢者の方々の様々な相談を受けてくれる窓口であると説明されました。藤山先生からは、患者さんご家族も後悔のないように、在宅医療は安心して穏やかに過ごすための選択肢の一つであると、また助村先生からは口腔ケアだけでなく、噛むことの大切さや唾液の働きなど、いつまでもおいしく食べられるようにとお話しいただきました。

齋藤先生からは、どのような方が訪問対象となるのか、医師や他職種との連携など、今まで知らなかった薬剤師の役割を知ることができました。

【講演会についてのご意見】

・日頃の生活の中で、いっぱい知らないことがあり、本日の講演を聞き、勉強になりました。

・自分や家族が、介護が必要になった時、予後が短い場合、より納得できる暮らしが出来るように家族で話し合っておく必要があると思った。

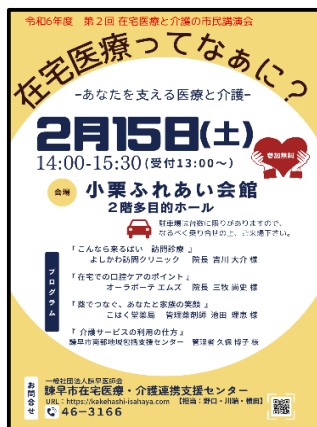
・夫婦二人暮らしなので、今回とても興味がありました。元気であれば、いつまでも家で生活したいのですが、体力面、認知面いつまで介護できるか心配です。介護できるうちにはできるだけ自宅介護をしたいのですが、できなくなった時、入れる施設があるのかその事も心配です。



キ 地域住民への普及啓発

① 医療と介護に関する市民講演会の開催

第2回 市民講演会



【日 時】 令和7年2月15日(土) 午後2時から3時半まで

【会 場】 小栗ふれあい会館

【参加者】 48名

【講 師】 よしかわ訪問クリニック 吉川大介先生
「こんなら来るばい!! 訪問診療」

デンタルクリニックオーラボーテエムズ 三牧尚史先生
「在宅での口腔ケアのポイント」

こはく堂薬局 池田理恵先生

「薬でつなく あなたと家族の笑顔」
諫早市南部地域包括支援センター 久保博子様
「介護サービスの利用の仕方」

講演内容

吉川先生は、訪問診療と往診の違いや、多職種で支え合いながら、訪問を行っている症例をご紹介くださいました。在宅医療のイメージができ、会場からはたくさんの質問があがりました。三牧先生は、口腔ケアのポイントや噛むことの大切さについてお話され、非常にインパクトのある内容に会場の皆さんの聞き入っている様子が印象的でした。

池田先生は、薬剤師が訪問してどのような支援ができるのか、また“飲みにくい”“飲み忘れた”などよくある困りごとへの対応のお話でした。

南部地域包括支援センターからは、介護サービスを利用するための手順や困ったときの相談先について、わかりやすい説明がありました。

【講演会についてのご意見】

- ・医療と介護のグループの支援を受けながら最後まで元気に過ごせる、そんな希望が持てました。
- ・母の事も重なり、また私達夫婦の将来のことも考えると、大変参考になり、ちょっとしたギモンがとれました。
- ・普段のおしゃべりの中で話題になり、情報を交換しあうことが今後の生活に少しでも安心感を持って過ごせるようにしたいものです。

成果と課題

- ・チラシの全戸配布や回覧板等で周知を図っていたが、集客になかなか結び付いていない。
- ・参加者のご意見から、内容については在宅医療等について知ることができ良かったという評価が多くあるため、周知方法、開催方法について検討する必要がある。



キ 地域住民への普及啓発

② 医療と介護のお気軽座談会の開催（資料10）

概ね10名以上の地域の団体やグループの市民を対象に、在宅医療や介護への理解を深めてもらうことを目的に、「医療と介護のお気軽座談会」を開催しました。

取り組み内容

【令和6年度開催状況】

開催日	5月20日	9月3日	11月11日
会場	喜々津団地公民館	津水町公民館	馬渡町公民館
団体等名称	老人クラブ多寿喜会	サロン笑びす	いきいきサロンわかば会
参加者	16名	16名	7名



＜座談会へのご意見＞

- ・非常に参考になりました。家族との話し合いは簡単そうで、簡単ではなさそうです。ゆっくり話す機会が早々ない。
- ・現在は二人元気ですけど、いずれ介護される時が来ると思うので、その時の参考になりました。
- ・介護が必要になる年齢が近づくにつれ、よく制度を知り、自分にあった介護を探したいと思いました。

成果と課題

- ・参加者と気軽に質問や話し合いができる和やかな場づくりができた。
 - ・多くの市民に普及啓発するためにも、自治会長、民生委員、地域で行われているサロンなど、各団体等へ「お気軽座談会」の周知をしていく必要がある。
 - ・市民講演会とお気軽座談会を相互に周知をしていく方法等を検討する。
- ※これまでの市民講演会やお気軽座談会のアンケートやご意見等を取り纏めた。（参考2）

その他の業務

① 研修会等への参加

職員の資質向上のため、参加可能な研修会等（WEB研修含む）に参加し研鑽に努めました。

取り組み内容

＜県主催研修会、会議等＞

開催日	開催方法	主 催	テ ー マ
4/23	会場	県央保健所	第1回在宅医療・介護連携推進事業関係者意見交換会
7/29	WEB	長崎県福祉保健部	在宅医療・介護連携推進事業に係る事業担当者説明会
9/20	会場	県央保健所	施設におけるACP取組推進のための基礎研修会
11/20	会場	長崎県福祉保健部	在宅医療及び医療・介護連携推進に係る意見交換会
12/16	会場	県央保健所	第2回在宅医療・介護連携推進事業関係者意見交換会

＜諫早市在宅ケアサークル＞

開催日	開催方法	主 催	テ ー マ
5/24	会場	諫早市在宅ケアサークル	訪問診療における摂食嚥下障害への対応
6/17	会場	諫早市在宅ケアサークル	間違えない！服薬支援のコツ
8/19	会場	諫早市在宅ケアサークル	長崎県内における罪を犯した高齢者の支援について
10/21	会場	諫早市在宅ケアサークル	リハ専門職が事例を通して考える リハ・口腔・栄養の一体的な支援の大切さについて
12/16	会場	諫早市在宅ケアサークル	チームビルディングについて

その他の業務

① 研修会等への参加

<その他>

開催日	開催方法	主 催	テ ー マ
9/4	WEB	長崎市包括ケアまちなかラウンジ	在宅医療各種課題検討会①「日常の療養支援」
9/11	会場	長崎県介護支援専門員協会諫早支部	入院医療の機能と役割
9/14	WEB	長崎市包括ケアまちなかラウンジ	多職種研修会「元気なうちから手帳」の活用事例Part③
10/26	WEB	長崎県国民健康保険診療施設協議会他	第28回長崎県国保地域医療学会
11/7	WEB	長崎市包括ケアまちなかラウンジ	在宅医療各種課題検討会②「急変時の対応」
11/30	WEB	雲仙市・南島原市在宅医療・介護連携サポートセンター	南高合同在宅医療・介護連携研修会
12/12	会場	一般社団法人長崎県薬剤師会	諫早地区在宅医療・多職種連携研修会
1/15	会場	長崎県介護支援専門員協会諫早支部	「ケアマネ、ヘルパーさん、また一緒に話をしませんか」
2/19	WEB	長崎市包括ケアまちなかラウンジ	在宅医療各種課題検討会④「看取り」

② 研修等受け入れ

取り組み内容

県央看護学校専門課程3年生への講義（令和6年10月9日）

テーマ：「在宅療養者の視点で医療介護連携を考える」

県央看護学校（校長 山本 広樹）より、同校専門課程3年生の統合実習の講師依頼があり、在宅医療・介護連携推進事業の一つである当センターの役割などを保健師が説明。

当センターが実際に受けた相談内容や医療・介護関係者向けに行っている研修会、情報紙の発行など、当センターにおける医療と介護の連携に向けた取り組みの紹介を行った。

なお、統合実習は地域包括ケアシステムも学習課題であるため、市地域包括ケア推進課、中央部地域包括支援センターからも講師として協力している。

成果と課題

病院等の看護師は退院に向けて、入院時から患者の思い、背景を把握し、その方の望む場所へ退院できるよう、支援が必要である。

職種は違って、同じ目的・目標を持った多職種との連携が取れるよう、病院等の看護師として、在宅医療・介護関係者と共に在宅療養者を支えるという意識、視点を持てるような内容とした。

“なぜ、多職種連携が必要なのか”、学生と共に考え、今後の業務にも活かしていきたい。